

令和2年度 自治会連合会と地域市民の集い（紅葉丘文化センター圏域）・議事録（敬称略）

1. 日 時 令和2年9月13日（日）午前10時～12時
2. 場 所 紅葉丘文化センター 講堂
3. 出席者 16名
4. 書 記 椋田實

5. 会議の概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 会長挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、柴澤、山上、植木、筒井（7名）

紅葉丘文化センター圏域：平田、柴田、生田、行本、岡部、大塚、橘川、高橋、安田、岡田（10名）

(3) 府中市自治会連合会・自治会についての説明（谷本）

自治会ハンドブックを使って活動を紹介した。

(4) 四部会の活動状況

・総合的な活動

新型コロナウイルスの市長への要望と回答を状況を説明（資料配布）、回覧が必要なら会議後にお渡しする。

盲人対策用信号機時間延長を実現するための実態調査（関係町会長に承諾を取る）

視察研修（防災機器展）の申し込みは現在28名

市長との懇談会は実施することで準備中

自助体験として、電気、ガス、水道のひとつを使わない日を作って体験することが有効

災害では備蓄とは別に、停電時にスマホやラジオなどの機器に充電する設備が必要（自助や共助）

・生活安全対策部（植木）

トランシーバーの所有数調査を実施中、（災害対策として最悪時の情報伝達網の構築）

水害時の避難所は、対象別の避難所設置、早期設置、開所管理など改善している

・市民協働対策部（山上）

自治会活動賠償責任保険（自治連・団体保険）を募集中

市民協働まつりはオンラインで実施、自治連は役員会をZoomで実施&録画する

・環境対策部

資源物回収の課題（業者が0円あるいは手数料化）、現状（自治会が10円/キロ、業者が2円/キロ）

今後、業者を4円/キロにする方向で進めている。

・福祉対策部

特に無し

(5) 懇談会

①防災の話（筒井）、安否確認、自助、密閉袋（BOS）、ローリングストック、カセットコンロ、炊飯などは普段の体験が必要、地震では転倒防止策が重要

①災害時は在宅避難を勧めている、②府中市から電源確保補助の予備調査が来ている

③防災訓練（若松小など3カ所）は実施するのか、④災害時の停電対策はどうするか

(6) 閉会挨拶 志水会長

会員への説明では、自助と共助を区別して伝えることが必要です。

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--